

所中だより



令和4年3月15日 第12号

学校教育目標

＜自主的な生徒＞

心豊かな生徒（感謝）

自ら学ぶ生徒（挑戦）

たくましい生徒（忍耐）

校長 岩間 健一

【特色ある学校づくり宣言】 本校は、さわやかな挨拶・心に響く合唱・地域に根ざす学校を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1

TEL 04-2922-4138(FAX:4139)

<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-jh>

E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

祝 卒業おめでとうございます - 第75回卒業証書授与式 校長式辞 抜粋 -

陽春のこの佳き日、所沢市教育委員会 委員 森田 理恵 様にご列席を賜り、そして、卒業生保護者の皆様をお迎えし、所沢中学校第75回卒業証書授与式を挙行できますこと、心より御礼申し上げます。



さて、271名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、今日で中学校3年間の学習を終えると共に、義務教育9カ年の全課程を修了しました。…（中略）…皆さんと共に歩んだ3年間。それまでと変わらぬ「挨拶・合唱・ボランティア」の3本柱のもとに歩んでいた学校生活は、皆さんが1年の2月後半から、突如一転しました。3月からのかつて経験したことのない突然の臨時休業、この臨時休業は年度をまたいで、2年生の5月末まで3か月間続きました。…（中略）…やがて、コロナウイルスへの対策対応もある程度整ってくるにつれ、感染リスクの高い活動や、リスクを0にはできないが、リスクを減らす対策などもある程度は見えてくるようになりました。私はそのような中で、リスクをできる限り下げた上で、実施できる教育活動は実施していく、たとえ形を変えてでも実施していくという方向で取り組んできました。それは、中学校生活における一つ一つの活動というのは、生徒の皆さんにとって、一生に二度とない貴重な体験や経験となるものであるとの考えからでした。一方で、学校で感染を広げることはできません。それは、皆さんや皆さんのご家族の健康を損なうことはもとより、感染者や濃厚接触者の出席停止や、臨時休業・学年・学級閉鎖等につながるもので、別の意味で皆さんの学習する権利を奪うことになってしまふからです。…（中略）…卒業生の皆さんにとっても、耐え忍ぶことの多い3年間であったと思います。しかし、そのような中であっても、皆さんは明るさや温かさを絶やさず、前向きに学校生活を送ってくれました。もちろん、時にはつらいことや、落ち込むこともあったことではどうでしょう。それでも、皆さんの教室に行くと、いつも明るく温かく、私まで居心地がよくなるような雰囲気、皆さんどのクラスでも、いつでも絶えずことなく創っていましたね。皆さんの毎日の明るい挨拶、素直で前向きに、一生懸命に学習や部活動、諸行事に取り組む姿に、本来はみなさんを励ます立場である私が、何ども励まされ勇気づけられました。修学旅行の一日目、東大寺の見学は大雨に降られる中での見学となり、ずぶぬれになりましたが、秋の校長面接では、それすらもよい思い出に変えて話す、明るく前向きな皆さんでした。体育祭は、…（中略）…本年度、全校の生徒と教職員が一堂に集まったのは、結局この体育祭の時だけとなりました。それでも3年生のあたたかく、そしてたくましい姿は、しっかりと後輩たちの目に、そして心に刻まれていることと思います。

皆さんは、先輩達が作り上げてきた本校の伝統を、皆さん自身の力で、さらに素晴らしいものへと高めてくれました。…（中略）…コロナの影響でできなかったこと、縮小したことはありますが、それは皆さんに、全く原因も責任もありません。堂々と、胸を張ってこの所沢中学校を卒業して行ってください。皆さんは本校の学校教育目標「自主的な生徒 心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 たくましい生徒」を十分に達成した、私達本校教職員の誇るべき生徒達です。その陰には、保護者の皆様の支えやご協力があったことを忘れてはなりません。保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長したお子様の姿をご覧になり、保護者の皆様のお喜びもひとしおであろうと拝察いたします。また、これまで本校の教育活動に対して賜りました御支援と御協力に心より感謝申し上げます。最後になりましたが、本日の卒業式にご臨席をいただき、これまで卒業生を温かく励まして下さいました皆様に深く感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。結びに、皆様と共に卒業生の限りない前途を祝福し、式辞といたします。

卒業生 別れの言葉 - 卒業生代表 奥富 煌己 -

私達3年生はここまで、家族、先生、地域の方々、多くの人の支えによってここまで成長してきました。そして、たくさんの友との出会いが僕達を成長させてくれました。僕達は今日、卒業します。私達はこの3年間の生活を通して大きく成長してきました。日々の生活の中で、時間や提出物、挨拶など当たり前前することを当たり前にするこの大切さを学び、失敗をして怒られたり、注意されたりしつつも徐々に成長してきました。

1年生の時の川越巡りでは、道がわからなくなり、運よくたどりつけたり、川越駅と川越市駅を勘違いしていたりと計画通りに進まないこともありました。カメラをなくした班もありました。私達に内緒でうなぎを食べていた先生の話の後から知り、うらやましかったです。違う小学校だった仲間と協力し、トラブルを解決したことは、仲良くなるきっかけになりました。職場体験で、私は小学校に行きました。一日の中ですることは多く、仕事の大変さを学びました。一方で、児童と話したり、遊んだりすることはとても楽しく、仕事のやりがいというものを見つけられたと思います。しかし、1年生の終わりにコロナウイルスにより突然の休校となりました。期末テストが全教科行われず、喜んだのも束の間。最後まで1年生の生活をやり切れず、納得のいかない形で2年生になりました。久しぶりの登校日には普通の日々の大切さ、そしてなによりも友という存在の大切さに気付かされました。

コロナの影響で様々な行事も中止になりました。自分の興味あることからテーマを設定し、話し合い、計画表を作り上げた東京巡りも中止になりました。それでも、この経験は修学旅行やテーマを生かすという点で卒業研究につながることができました。合唱コンクールは昨年も今年も、できませんでした。1年生の時の合唱コンクールで聞いた先輩方の圧倒的な歌声は今でも忘れられません。合唱は三本柱の一つでもあります。所中生全員が声を合わせて歌える日が早く来るよう願っています。体育祭は3年間行うことができました。行事の中でもクラスの一人一人が役割を持ち、一丸となって優勝という目標を目指して、練習に励む体育祭は、僕にとってとても大きな行事でした。大縄跳びでは毎回の練習で跳ぶ場所を考え、よりよくなるように、改善点を話しました。3年生の体育祭では、お玉でポン



(裏へ)

の最終レースで仲間たちがクラウチングスタートをしたり、ハードルの下をくぐったり、必要以上に回るなど少しふざけていたことも忘れられない思い出です。部活動も制限がかかってしまいました。練習時間が削られることは残念でした。部活動は真夏の練習や冬の朝練がきつくと、野球部のボールを無くした時にする走り込みも、今振り返ってみると、きつい練習の中で、持久力や打撃の飛距離など身体的にも技術的にも成長したと感じます。先輩ができ先輩としての自覚が芽生え、自分たちが前に立たなければとリーダーシップを発揮した仲間も多かったです。先輩として一人一人が周りを見て自分に何ができるのかを考えて行動ができるようになったのは、部活動のおかげです。

そして、いよいよ最上級生になりました。修学旅行に行けたことは本当に良かったです。東大寺では突然の土砂降りではみなびしょ濡れになったことは強烈な思い出です。夜に他の部屋で怒られる声が聞こえ、シーンと静まり返ったり、男子部屋でも恋話を花を咲かせたことも大切な思い出の一つとなりました。クラスでは、実際に京都と奈良を訪れて、学んだこと、感じたこと、気づいたことを学校に戻ってから発表しました。クラスの仲がより一層深まっただけではなく、歴史についての理解も深まり、学校の授業とは、また違う良い経験になりました。

中学校に入学してから、ここまでの生活はあっという間でした。先日行われた三送会では、1、2年生の発表から私たちを楽しませようという思いが伝わってきました。発表や思い出ムービーで、この所沢中学校での日々の思い出が蘇り、この三年間の日々が自分にとっていかに楽しく充実したものであったか再確認しました。

1、2年生のみなさんにとって「卒業」というものはまだまだ遠い先のことだと思います。これからも授業や部活動、行事、友との生活は続いていきます。しかし、その日々も終わりがあります。所沢中学校の伝統を受け継ぐとともに、一瞬一秒を大切にしてください。

9年間の義務教育を経て、僕は、「自信」を胸に卒業することができます。9年間の学校生活の中で知識や知恵を身に付けて、「自分で考える」ということを学ぶことができました。社会に出ていくと、選択や判断をすることが増えてきます。そこで、自分で「考えて」自分の選んだ道を進む「自信」を身に付けることができたのは、先生方や、友達と一緒に作り上げた行事、日々の学校生活のおかげです。

3年間、私たちを正しい方向へと優しく、時に厳しく導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。こうして今日まで学びを深め、楽しい日々を送れたのは先生方のおかげです。私たちとかかわってくれたすべての先生方に感謝の思いでいっぱいです。BOSSとして巧みな話術で僕たちをたくさん笑わせてくれた石田先生。僕たちのことをゴルフとラーメンと車以上に大切に思ってくれた山崎先生。僕たちを大事に思い、教え子の話を授業に良く取り入れる古屋先生。いつもまじめに丁寧な授業をし、プリント多めの長岡先生。野球部ではまじめだけど、数学の授業では被り物をしたりと笑わせてくれた菊池先生。いつも元気で明るく、僕たちに元気を与えてくれた落合先生。ゆっくりとした話し方で僕たちに国語を教えてくれる、生徒会ではボケとツッコミ両方多めの粕谷先生。社会の授業でいつもとても楽しそうに話をする宮本先生。生徒の近くで毎日を楽しむ、生徒おもいな木村先生。独特な話し方で技術を細かいところまで教えてくれた根本先生。音楽のすばらしさを美声で教えてくれた小番先生。8組では、怒ると怖いけど、いつもはすごい優しい主任の木村先生。世界三大美女であり、面白い授業をしてくれる三宅先生。今までありがとうございました。

そして、両親へ。進路のこと、勉強のこと、学校のこと。困らせることも多くごめんなさい。その時に、怒ったり、いろいろしてくれたおかげで今、ここに立つことができます。とても感謝しています。そして、これからもよろしくお願ひします。

私たちは今日、卒業します。明日から、この場所で、このクラスで、この学年で集まることはありません。私たちはそれぞれの異なる道を歩んでいきます。その道の途中で困難にぶつかることもあると思います。その時は、この所沢中学校で過ごした日々を思い出し、背中をそっと押ししてもらいましょう。そして最後に、この場所で、友と毎日を過ごせたことは本当に幸せでした。再び会えるその時までこの所沢中学校での思い出を大切に。

僕たちが見上げる空はどこまでも続き、輝いています。同じ空の下どこかで僕たちはいつも繋がっています。

埼玉県教育委員会優良生徒表彰 今村 優仁(3-6)
埼玉県学校体育協会体育優良生徒表彰
豊谷 思温(3-2) ガムンダニ 晏那(3-5)
埼玉県産業教育振興会優良卒業生表彰
和田 知里(3-4)

在校生 送る言葉 - 在校生代表 北沢 海結 -

寒さの厳しかった冬も過ぎ、春のあたたかな風が身を包む季節となりました。今日の佳き日に所沢中学校を巣立っていかれる三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。先輩方とのお別れがこんなにも早いことに驚きと寂しさで胸が詰まる思いです。今ここで、先輩方との思い出を振り返ってみると、いつも私たちをあたたく、優しく見守って下さっていたことに改めて気づきます。

まず、生徒会活動です。私は生徒会活動をきっかけに、先輩方と深く関わるようになりました。活動中、何をすればよいかわからず戸惑っていた私を、先輩方は優しい言葉で力強く引っ張っていってくれました。奥富先輩をはじめ、生徒会、各委員会に関わる先輩方全員が自ら積極的に仕事に取組み、前向きにそして楽しく、自分の仕事をこなしている姿は今でも私の目標になっています。

次に体育祭です。先輩方は私たちに輝かしい姿をたくさん見せてくれました。「お玉でサスケ」では、目にもとまらぬ速さで私たちを圧倒させ、「サンドイッチリレー」ではオリジナルの作戦で勝負に挑み、学校中に笑顔を届けてくれました。新大縄跳びではクラス一丸となり、たとえ失敗したとしても、「ドンマイ」「まだまだいける」と、励まし合う大きな声がグラウンドに響き渡っており、どのクラスが優勝するのだろうか、緊張して見ていたことを覚えています。先輩方お一人おひとりが、全力で体育祭を楽しんでいる姿が目前にあったからこそ、私たちも精一杯体育祭を楽しむことができたのだと思います。

最後に、三送会についてお話しします。今年も動画を中心とした発表となりましたが、先輩方に少しでも楽しんでもらえるよう、一・二年生で力を合わせ、装飾や出し物を考えました。二年生で作成した教室前の絵を思い出してみてください。アニメキャラクターと先輩方へのメッセージ。その周りにちりばめられた花には、先輩方に伝えたい思いを「花言葉」に込めました。その「花言葉」の一部をお伝えします。「青春の喜び」「希望と幸せを招く」「優しい思い出」「輝かしい未来」校舎一階廊下に掲示してありますので、お時間がございましたら、ぜひご覧ください。

他にも、体育館内の装飾や、各学年の出し物など、先輩方への感謝の想いが伝わるよう、そして楽しんでもらえるようにと、様々な工夫を施しました。在校生が一丸となり、心のこもった会を実行できたと思います。先輩方、いかがでしたでしょうか。

今の私たちではまだまだ先輩方には及ばず頼り無いところがあるかもしれませんが、先輩方から学んだこと、先輩方と過ごした日々を胸に、先輩方が今まで築いてきた所沢中学校の三本柱や素晴らしい伝統を受け継ぎ、さらなる飛躍を遂げていきます。ご卒業されてからも所沢中学校の日々が誇りとなり、様々な場面で支えになることを願っています。

最後に在校生を代表しまして、今まで本当にありがとうございました。先輩方の、さらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます、送る言葉とさせていただきます。

